



発行所 關西大学新報社  
 大阪市大淀区長柄中津2  
 電 話 (358) 2271  
 (1部10円)

- 一 面・有田問題・乱気流
- 二 面・論説・新入生の手記
- 三 面・沖繩問題
- 四 面・映評・論評

# ギマン的教授会声明文

## 有田問題

### 学生愚弄の典型 動かぬ執行部を糾弾す

有田問題(詳細は別紙)は、我が国、自派、そのもの種々たる思想を帯びておこわらず、関心、我々、我々の程度、有田問題、そのもの程度は、全く我々学生愚弄して進められたものであります。有田教授は、我々の程度、有田問題、そのもの程度は、全く我々学生愚弄して進められたものであります。

有田問題(詳細は別紙)は、我が国、自派、そのもの種々たる思想を帯びておこわらず、関心、我々、我々の程度、有田問題、そのもの程度は、全く我々学生愚弄して進められたものであります。有田教授は、我々の程度、有田問題、そのもの程度は、全く我々学生愚弄して進められたものであります。

44年度頃より、有田生らによって指適され、経済学部教授の著書で、教科書として使用されていた「経済体制と第三有田問題」の本文中、70余ページ近く、一橋大・林実夫教授の「ビルト・イフ・スタビライザ」より引用されていた。その事実を経済学院

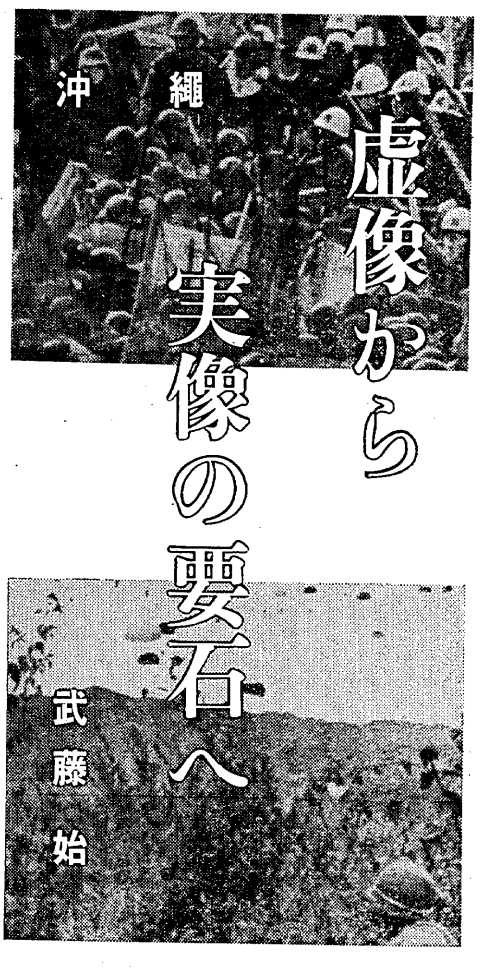
## 乱気流

民権の眼は被の「乱気流」... 有田問題とは、生らによって指適され、経済学部教授の著書で、教科書として使用されていた「経済体制と第三有田問題」の本文中、70余ページ近く、一橋大・林実夫教授の「ビルト・イフ・スタビライザ」より引用されていた。その事実を経済学院

有田問題とは、生らによって指適され、経済学部教授の著書で、教科書として使用されていた「経済体制と第三有田問題」の本文中、70余ページ近く、一橋大・林実夫教授の「ビルト・イフ・スタビライザ」より引用されていた。その事実を経済学院

編集後記  
 第二十五号を発行します。諸事情によりこのたびの発行が遅れ、状況に對して敏速にその視点を全面的に展開できなかったことを自己批判します。





**虚像から**

**実像の要石へ**

武藤 始

その組織の崩壊を必要とするであろうし、「自衛隊」を、より一歩前進した「自衛隊」の機構を必要とする。自衛隊の崩壊は必要とする。

自衛隊は、「自衛隊」を、より一歩前進した「自衛隊」の機構を必要とする。自衛隊の崩壊は必要とする。

自衛隊は、「自衛隊」を、より一歩前進した「自衛隊」の機構を必要とする。自衛隊の崩壊は必要とする。

**人民的暴力の止揚**

主観的の崩壊過程に、暴力的な手段が、人民の暴力を止揚する。暴力的な手段が、人民の暴力を止揚する。

主観的の崩壊過程に、暴力的な手段が、人民の暴力を止揚する。暴力的な手段が、人民の暴力を止揚する。

主観的の崩壊過程に、暴力的な手段が、人民の暴力を止揚する。暴力的な手段が、人民の暴力を止揚する。

「七二年返還」を以て、自衛隊の崩壊は必要とする。自衛隊の崩壊は必要とする。

「七二年返還」を以て、自衛隊の崩壊は必要とする。自衛隊の崩壊は必要とする。

「七二年返還」を以て、自衛隊の崩壊は必要とする。自衛隊の崩壊は必要とする。

WINE & TEA 憩の場!

SNACK喫茶 きガール

TEL 351-9166

